

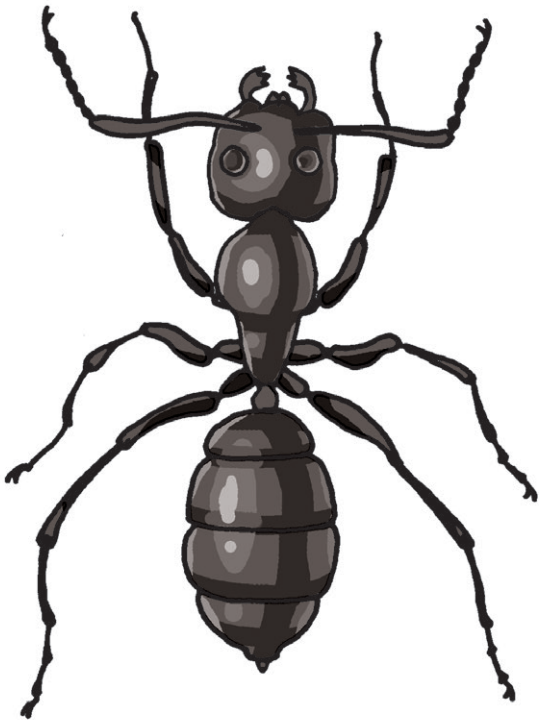


ladybug

どうして“lady” (女性) という
言葉が入っているの？

女性的でかわいいから？
実は、昔の絵で聖母マリアが着
ている赤いマントに、てんとう虫
が似ているからです。
だから、英語圏の国では、てんと
う虫は大事にされています。

テントウムシ



ant

「いらだち」、「こうぶん」、「そわ
そわする」という意味にも使われ
ます。自分のパンツの中を、アリ
が這っているところを想像してみ
てください。そわそわするし、いら
しますよね。

例文 ants in one's pants

アリ



beetle

せいしき
正式には

“rhinoceros beetle”

といいます。

“beetle” だけだと、「甲虫」こうちゅう ぜん全体を意味します。たい いみ“rhinoceros”
は動物のサイのことで、「サイの
ようなつのがある甲虫」こうちゅうという意
味で、「rhinoceros beetle」と
言います。

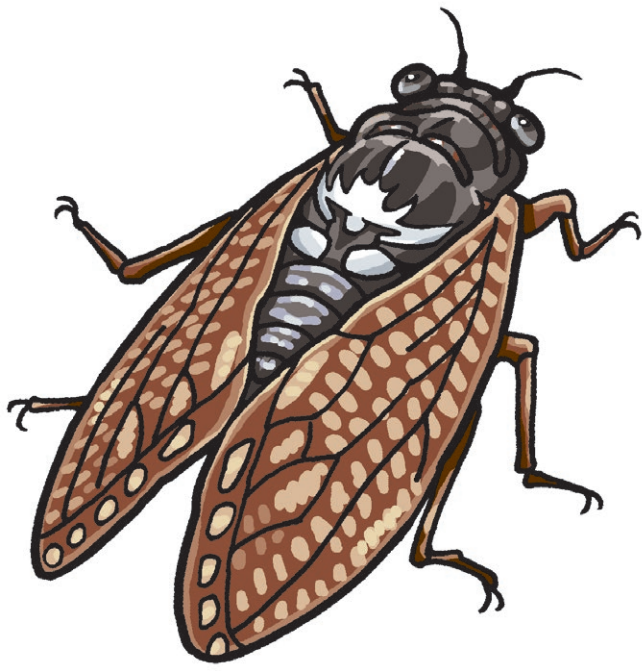
カブトムシ



stag beetle

“stag” は「牡ジカ」おの意味で、
“beetle” は「甲虫」こうちゅうを意味しま
す。「牡ジカのようなつのも
虫」むしという意味で、
“stag beetle” と言います。

クワガタムシ



cicada

日本語では「せみが鳴く」と言いますが、英語では“cicadas make noise” “a cicada is buzzing”と
いいます。“buzz”は、羽をふるわ
せているような音です。

日本では当たり前「セミ」は
「鳴く」と言いますが、英語圏で
はセミは日本ほど一般的な虫で
はないので、英語で「セミと言え
ば、この言い方を使う」というの
は特にありません。

セミ



butterfly

アゲハチョウは

“swallowtail butterfly”

イラストのような白いもんしろちよ
うは“cabbage butterfly”
と言います。

もんしろちょうの幼虫が

“cabbage” (キャベツ) を主食
にするからです。

チョウ

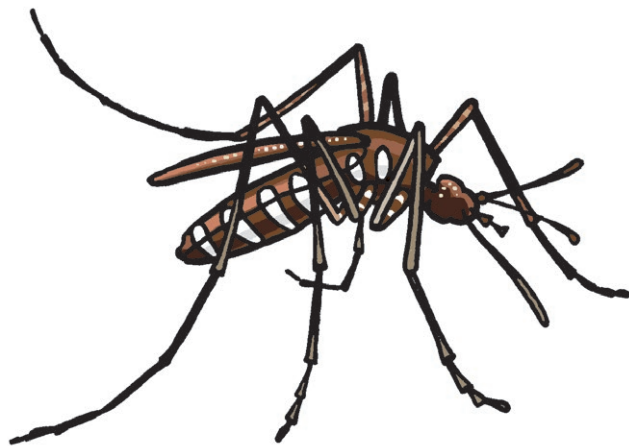


silkworm

かいこの繭は、絹をつくるもとになりますので、“silk”(絹)の“worm”(虫)で“silkworm”と言います。

絹の元になるかいこの繭のことは、“silkworm cocoon”と言います。

カイコ



mosquito

例文

「蚊にさされた」は

I was bitten by a mosquito.

または

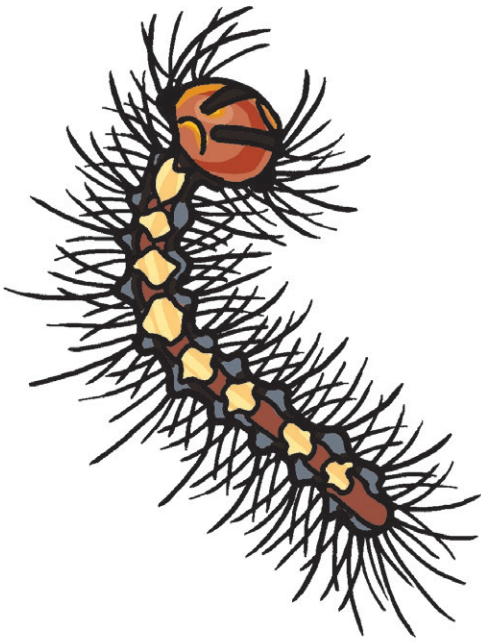
A mosquito bit me.

「蚊をたたく」は

swat a mosquito

と言います。

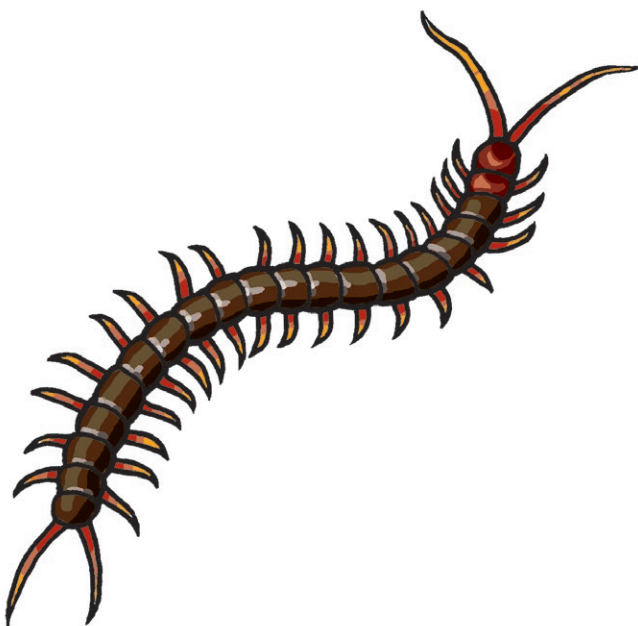
カ



caterpillar

にほん ^{すがた}
日本では姿によってイモムシやケ
ムシと呼び分けませんが、
^{えいご}
英語ではすべて“caterpillar”
といいます。

ケムシ



centipede

“centi”は「100」をあらわす ^{えいご}英語
で、“ped”は「足」という ^{いみ}意味。
にほんご
日本語でも、ムカデは漢字で「百
そく ^か
足」と書きます。
^{ことば} ^{ちが} ^{あし}
言葉が違っても、足がたくさんあ
るのを「100」とあらわすのは ^{いっしょ}一緒
ですね。

ムカデ



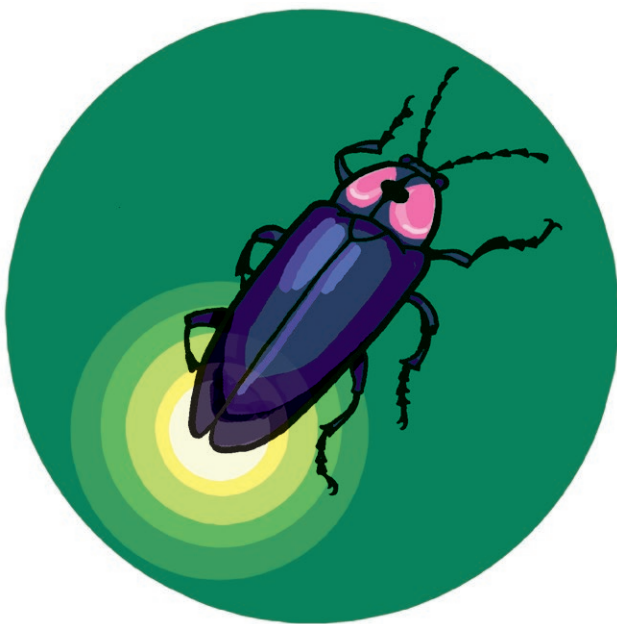
snail

例文 at a snail's pace

「ゆっくりと」という意味の例文。
「のろま」という悪口の意味でもあります。

インターネットでのメールが広まっているこのごろは、郵便のことを
“snail mail”と言ったりもします。

カタツムリ



firefly

例文 a light as faint as
the glow of a firefly

ほたるの光のように消えそうで弱い光のこと。

ほたるは“lightning bug”とも言います。

ホタル



pill bug

“pill”は錠剤、くすりの形のこと。
丸くなった形が、日本語ではだんご、英語ではくすりに似ているとおもわれたんですね。

他にも

“Roly-poly” “Wood louse”
“Potato bug”などの呼び方があります。

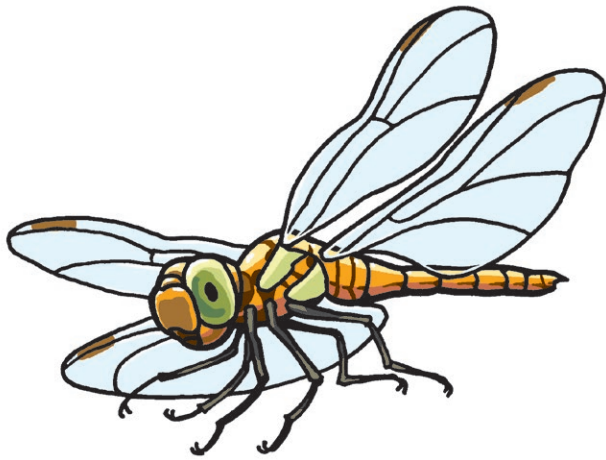
ダンゴムシ



earthworm

“earth”は大地や土という意味で、“worm”は足のない細長い生き物全てを表します。
「土の中にいる虫」で“earthworm”です。

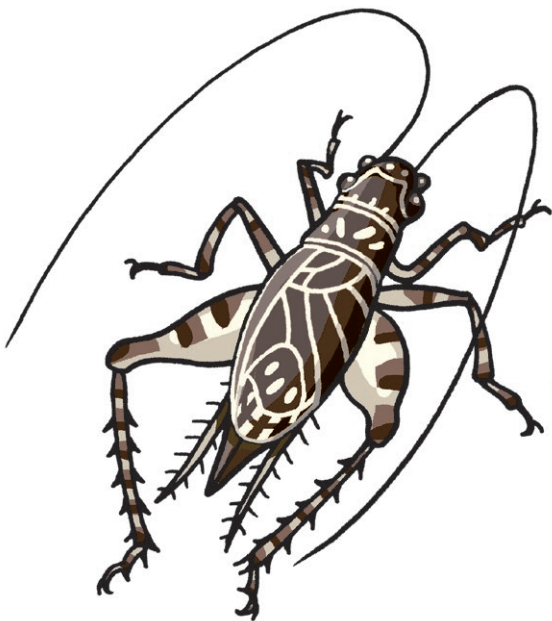
ミミズ



dragonfly

“dragon”は「竜^{りゅう}」という意味で
“fly”は「羽^{はね}を持った飛^とぶ虫^{むし}」と
いう意味です。

トンボ

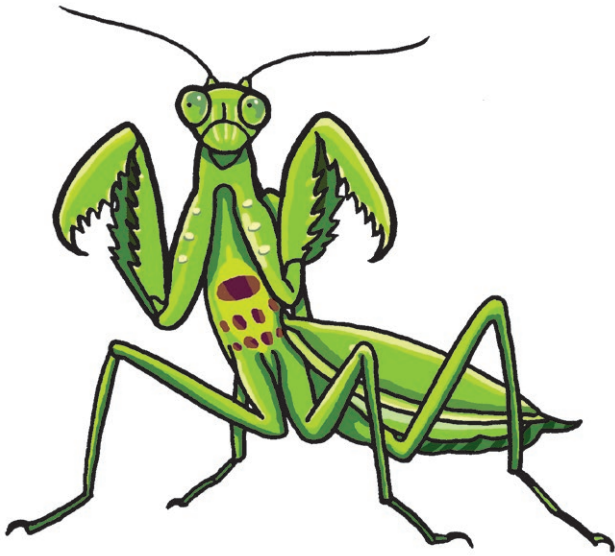


cricket

まんが
漫画のキャラクターなどで親しま
れている昆虫^{こんちゅう}です。
すずむし
鈴虫はコオロギの仲間^{なかま}ですが、
おうべい
欧米にはいないので

“Japanese bell cricket”
“singing cricket”
と言います。

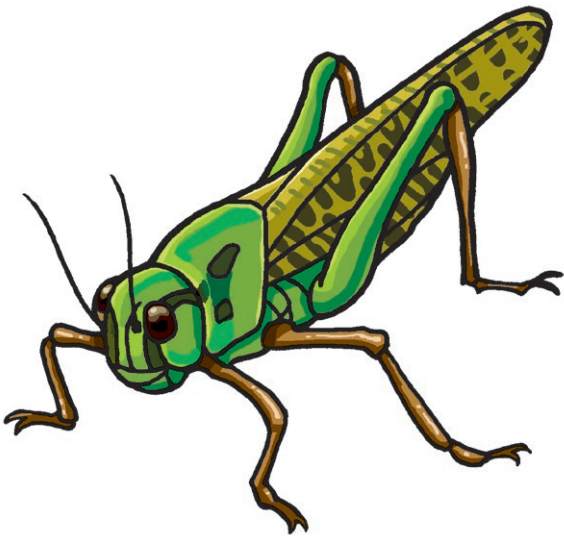
コオロギ



mantis

カマキリが^{まえあし}前足を^あ上げた^{すがた}姿が、
^よ横から^み見るとお^{いの}祈りをしている
(praying) ように^み見えることから
“praying mantis” とも言われ
ます。

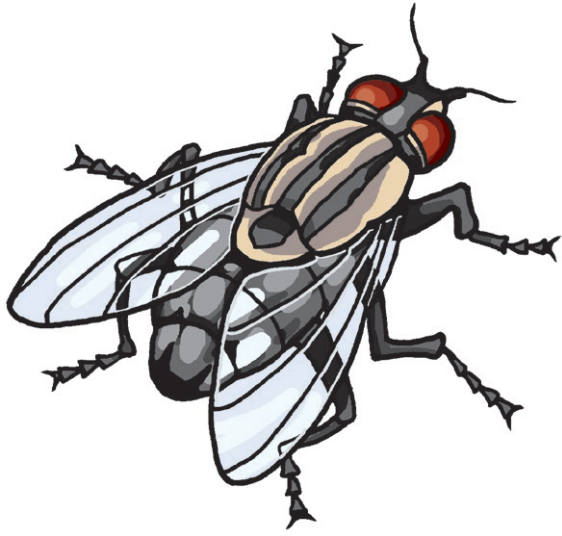
カマキリ



grasshopper

“grasshopper” は、^かバッタ科や
^かキリギリス科をまとめた^{ことば}言葉です。
“grass” は「^{くさ}草」、^か“hopper” は
「^はぴよんぴよん跳ねる」という^い意味
です。

バッタ

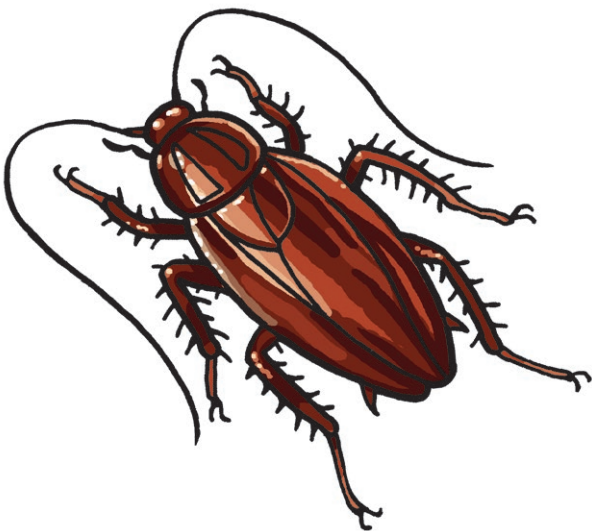


fly

「飛ぶ」という意味の英語も同じ
“fly”です。

“fly”は「羽を持った飛ぶ虫」全
てを表しますが、特にハエの意味
で使われることが多いです。

ハエ



cockroach

省略して“roach”ともいいます。

または、

black beetle = 黒い甲虫

というかっこいい言い方をすること
もあります。

ゴキブリ



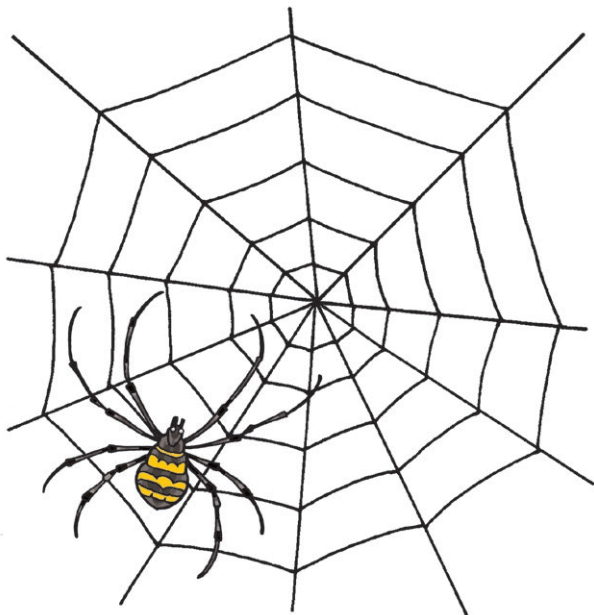
bee

“bee”はミツバチなど、^{はな}花の^{みつ}蜜や^{かふん}花粉を集めて^{あつ}餌にする^{えさ}ハチのことです。^{はたら}働き者を“bee”と^い言っ
ともあります。

スズメバチやアシナガバチなど、^{こんちゅう}昆虫やクモを^{えさ}えさにするハチは
“wasp”とも^い言います。

ハチの^{はね}羽音は、“buzzzz... (ブー
ン..)”という^{おと}音で^{あらわ}表されます。

ハチ



spider

^{まん}漫画やアニメのキャラクターによ
く^{つか}使われます。

くもの^す巣は“web”と^い言います。

インターネットのことを“web”と
^い言っのは、このくもの^す巣のよう
^せ世界中にネットワークが^は張り^{めぐ}巡ら
されているからです。

クモ